

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	生保内公園施設維持管理費				
担当課係名	都市整備課	住宅公園係	作成者	高橋貞二	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち			総合計画のページ 81
	基本計画	公園や緑地の整備			
	主要施策	都市公園の管理と利用促進			
予算費目	一般会計	8款 土木費	4項 都市計画費	4目 公園費	
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規 / 継続の区分			
性質区分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根拠法令等	仙北市都市公園条例				
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運営方法	☐ 直営 ☒ 直営(一部民間委託) ☐ 民間委託(全部) ☐ 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民並びに来訪者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民の憩いの場、レクリエーションの場として、市民が快適で楽しく利用できる環境づくりに努める。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理業務を実施する。維持管理業務(公園内の草刈り、トイレ清掃、樹木の冬囲い)は、シルバー人材センターに委託している。

【事務事業の推移】

(単位:千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	維持管理実日数	日	135	137		
	成果指標	市民 1 人あたりの公園面積	m ²	4	4		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)			1,328	2,500		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源		1,328	2,500		
		人 件 費 (B)		—	79	242	
	職 員 数		—	0.01	0.03		
	職 員 平 均 人 件 費		—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	1,407	2,742		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		—	10,422	20,015	
				—			
市民1人当たりのコスト(円)		—	44	87			

【事務事業の今までの成果】

憩いの場として、心地よく利用できる環境を提供している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	緑化については、地球温暖化の視点から推進が求められている。 県の「水と緑の森づくり税」を活用した施設整備の予定がある。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	つつじの樹勢維持管理（施肥、剪定等）にもっと取り組んでもらいたい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
C	A	現状のまま継続（実施）	維持管理を委託しているが、面積が広い ため園内の草刈り作業、トイレ清掃が主 になっており、植木などの管理が十分に できない状況であり、C判定と判断した。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

- ・生保内公園愛護会からの協力を得て、植木の管理を進める。
- ・「水と緑の森づくり税」を活用した施設整備を進める。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C	市民から親しまれる公園を目指して、利便性を考慮した安全で効率的な運営に努めた事業の 推進が必要と考える。

一次評価診断図

